

2022年5月28日

横浜市アマチュア無線非常通信協力会  
2022年度総会議事録

日時：2022年5月22日（日）午後2時～4時20分

場所：横浜市民防災センター1階研修室

来賓：横浜市総務局危機管理室緊急対策課システム担当 山田課長、山本係長

出席者：本部理事・監事、各支部長、代議員

1. 開会の辞

- (1) 司会（JH1BAF 五木田事務局長）が開会を宣言した。
- (2) 来賓 横浜市総務局危機管理室緊急対策課

2. 会長の挨拶 JA1UVS 鈴木会長から挨拶があった。

緊急事態宣言の解除および蔓延防止等重点措置の終了を踏まえて、やっと対面形式の総会が実現した。来賓の山田課長、山本係長にご出席を頂き謝意を表明した。また危機管理室ご担当には新スプリアス対応無線設備の設営に対し、感謝を述べた。

当協力会は1972年（昭和47年）に設立され50周年を迎える。イベント等はコロナ禍を考慮して今後、検討を行いたい。

2021年度の活動はコロナ禍の中思う様に行かなかったが、横浜市内では幸いにも大きな被害は発生しなかった。最新調査によると、横浜における30年以内の震度6弱地震発生確率は38%に下がったが、横浜市危機管理室の協力を得ながら、各支部は一致協力してボランティア活動の活性化を更に図ってほしい。新型コロナウイルスに負けずに頑張っていたきたい。

3. 来賓のご挨拶

横浜市総務局危機管理室緊急対策課システム担当山田課長より挨拶をいただいた。

コロナ以外にもゲリラ豪雨や台風の大型化で風水害の被害が懸念されている。大地震をはじめとする災害の発生時に於いて、有効な災害対策ができるか否かは迅速で的確な情報収集が必要であり、当協力会の皆様による非常通信体制の運営は極めて重要な手段と我々は認識している。引き続き各区と連携を維持して訓練を実施していただきたい。

その後山田課長、山本係長は、所要のため退席された。

4. 議長の選出

議長の立候補、推薦が無かったので、当会の規約（第15条第1項）に従い、会長がJR1QVY内田理事を指名した。

5. 議長は書記にJH1EHE小野寺理事、JA6UHG中区鍋倉支部長の2名を指名した。

## 6. 総会成立の報告

総会の出席状況を、JH1BAF 五木田事務局長から報告した。

総会定数：支部長・代議員 計 54 名＋支部長を兼任しない理事・監事 計 7 名＝合計 61 名

総会出席者 計 44 名 + 委任状提出者 計 17 名 合計 61 名

以上により規約第 16 条第 1 項に従い、総会は定足数を満たし成立した。

## 7. 議案の審議および報告

### (1) 第 1 号議案 2021 年度事業報告、会計報告、監査報告

(ア) JA1UVS 鈴木会長から資料 (1) - 1 に基づき事業報告をした。

(イ) JH1EHE 小野寺理事から資料 (1) - 2 に基づき会計報告をした。

(ウ) JA1SAP 日暮監事から監査報告をした。

2021 年度業務監査の結果、業務、会計に関し適正かつ正当に行われたことの報告があった。

質疑応答

Q：会計報告で予算案が収入より支出が多く組まれているが、赤字予算を組まれたのか？

(栄区支部 山本)

Q：予備費の根拠は？(南区支部 大賀)

A：収入の部と支出の部の合計が一致しなければならないところ資料作成時にミスがあり、

(支出の部の数値は 2020 年度数値をミスコピーしたことが判明)、このような表になってしまったことをお詫びする。修正したものを後日配布する。

(小野寺理事)

Q：事務用品費のところにはがき・切手代が計上されているが、通信費の間違いではないか？

(南区支部 山田)

A：通信費の項目を追加して計上する。(山岸理事)

Q：事業計画についてコロナで活動が停滞していたが、本部と横浜市とでどんなやり取りがあったのか。(青葉区支部 上野)

A：横浜市とは定期的に会合をもっており、予算についても付けてもらえないか要請はしているが、現状の人数と予算の中での活動は現状では手一杯である。(鈴木会長)

第 1 号議案は出席者の賛成多数により可決された。

### (2) 第 2 号議案 次期理事・監事の選任

五木田事務局長から 2022 年度、2023 年度の立候補届結果により、監事 2 名、理事 8 名の立候補者について紹介した。

第 2 号議案は出席者の賛成多数により可決された。

このあと新理事で互選を行い、新会長は鈴木氏に決まる。新会長から新副会長に五木田氏、川畑氏を指名し決まる。

質疑応答

Q：規約では理事は会長、副会長を含め 10 人程度となっているが、現在 2 名足りない状況であり、10 人を目指すのか、8 名は程度という範囲に含めるのか？(南区支部 山田)

A：現在8名なので増やしていきたい、程度の範囲は2名ぐらいと考える。(鈴木会長)

(3) 第3号議案2022年度事業計画(案)、予算(案)

(ア) 鈴木会長から資料3-1に基づき、事業計画(案)について説明した。

質疑応答

Q：9月の防災フェアについて、例年8月開催だが9月に変わったのか？(磯子区支部 片山)

A：9月は仮の日程なので、今のところ日時ははっきり決まっていない。(鈴木会長)

Q：横浜市総合防災訓練と防災フェアの目的および効果について説明願いたい。

(金沢区支部 古谷)

A：目的として地域の方にPRすること、当協会の存在を知ってもらうことにより理解が得られる、そして新たな入会のPRになる。以前行った南区支部では、デジ簡や特小無線機を使って、防災に対して無線はどういうものなのか？非常通信にどう役立っているのか？等の疑問に対して相当なPRになった。小さい活動だったが、思った以上に興味を持ってもらった。

(南区支部 大賀、山田)

Q：今年度の横浜防災フェアの担当は磯子区だが、磯子祭りとの日程がバッティングの可能性があり、その場合は別の支部に代ってほしい。(磯子区支部 片山)

A：今現在日時が決まっていないので、決まった時点で対応したい。(鈴木会長)

Q：電波伝搬の調査日について、区役所から平日は無線機のあるフロアでの活動は業務に支障が出るので、難しいと言われている。休日にできないか検討してほしい(発言者不明)。

A：第4号議案の電波調査の報告で説明する。(内田理事)

Q：横浜市総合防災訓練や防災フェアの活動に関わる費用が発生すると思うが、どのように対応されたか？(港北区支部 渡辺)

A：南区で対応した時の掲示物やパンフレットは、本部や区役所、市役所が用意した防災パンフレットを利用した。また無線機などのパンフレットはメーカー各社から無償で提供を受けた。電源設備は会場で用意してくれる。万単位の出費はなかった。(南区支部 山田)

(イ) 小野寺前理事から資料3-2に基づき、予算(案)について説明した。

質疑応答

Q：宅配便送料が昨年の予算から半分になっているが、赤レンガ等で配送費が発生するので、この額だと足りないのでは？(南区支部 山田)

A：不足分が出た時は予備費で対応する。(小野寺前理事)

Q：今年度の予算案の支出の部で通信費の項目が抜けているが？(栄区支部 加峯)

A：通信費の項目を追加し、切手類は通信費に変更したものに修正し、後日配布する。

(小野寺前理事)

Q：会場費について、会議室の費用は？(栄区支部 山本)

A：各種会議は横浜市民防災センターの研修室で行い、費用は無料であるため発生しない。どうしても借りられない時の費用として計上している。(山岸理事)

第3号議案は出席者の賛成多数により可決された。

(4) 第4号議案 その他（報告事項）

(ア) 会員の状況について

JF1XBQ 川畑副会長から当協力会会員の状況について報告があった。

2022年3月31日現在の会員数は1,000名であり、名簿を市役所に提出した。前年度より12名減少した。高齢化による退会が多い。各催しでPRして会員を増やしていただきたい。

会員名簿を市役所に提出する理由として、会員が事故等にあった時に市からの補償が受けられる対象者となるので、各支部においては期日まで確実に名簿の提出をお願いする。

(イ) 電波伝搬調査の報告

JR1QVY 内田理事から電波伝搬調査について報告があった。

コロナ禍のため、緊急事態宣言および蔓延防止等重点措置が収まったところを見計らって、1月28日（金）に予定した。しかしコロナ禍の収束の兆しが見えないため、市役所から中止の連絡を受け、新庁舎からの電波伝搬テストは今年も中止となった。

市役所は従来の上曜日対応はコロナ禍のため保健所支援等で人員が出せず、平日であれば出勤者の対応で可能との回答があった。しかし会員の多くは現役で働いており休日を要望したが、結果金曜日になった。協力会からは、「お願い文書」の中で休日に行ないたい旨、市役所から各区役所に通知を出してほしいとの要望をしている。

2021年12月17日に南区支部および緑区支部の協力により新設備の動作確認を行い、問題ないことを確認した。

フロア図面等を用いてアンテナの配置、無線機の設定などを説明した。

伝搬調査以外の日程で個別にテストを行いたい支部があれば対応する。

質疑応答

意見：2年間電波伝搬調査を行ってないが、西区支部は2か月毎に無線機をチェックしている。

電波法では6か月以上電波を出さないと廃局になるため、数か月に一度は支部長が設備を点検することを薦める。コネクタや電源接続ターミナルのゆるみが散見されている。

（西区支部 今井）

Q：アンテナ間の干渉は大丈夫か？（発言者不明）

A：送信機の能力にもよるので、実際に電波を出して見ないとわからない。（内田理事）

Q：新庁舎のフロア図面について守秘義務はないのか？（発言者不明）

A：新庁舎の基本計画の中で公開されている資料なので問題ない。（内田理事）

Q：アンテナの図で東西南北を教えてほしい。（神奈川区支部 高崎）

A：今年度行う新設備での電波伝搬調査結果から従来のデータと比較してもらいたい。

（内田理事）

Q：IC-970の使用法また無線室の電源設備はどうなっているか？（南区支部 大賀）

A：各無線機に対し電源コンセントは別々に非常用電源をもらっている。フロア図面等資料はメールにて後日送付する。（内田理事）

旧市庁舎で使用していたIC-970はモニター用として置いてある。旧スプリアス機なので、申請はしていない。（川畑副会長）

(ウ) その他

Q：名簿提出は年一回だが、年度途中で加入した場合に補償は受けられるのか、また届を市に提出しなくても良いのか？(戸塚区支部 水野)

A：入会申込書を支部長が受けて保管することで補償が受けられる。次期名簿提出時に加えてあれば問題ない。グレーの部分として居住もしくは勤務地が横浜以外に変わった場合は補償の対象から外れるとの市役所の見解だが、保留となっている。(川畑副会長)

意見：西区の名簿の修正をお願いしたい。我々幹部は世代交代すべき年代に入っており、若い人が今回の会議を見て失望しないよう、開かれた会議にしてほしい。(西区支部 今井)

A：名簿修正は事務局で「支部長連絡情報」配布して対応する。(五木田事務局長)

すべての議案の審議と報告が終了したので、議長の JR1QVY 内田理事を解任した。

合わせて書記の JH 1 EHE 小野寺前理事、JA6UHG 中区鍋倉支部長を解任した。

8. 閉会の辞

JF1XBQ 川畑副会長から 2022 年度総会閉会を宣言し終了した。

以上

記録 (小野寺、鍋倉)